

たったひとつ

音もない  
色もない  
言葉もない  
心もない

そんな空間で  
わずかな隙間から差し伸べられた空

何が本当に  
何がまがいものかわからない  
気が遠くなる意識の中で  
無機質な空間から  
確かな空が  
私を呼びもどす

ああ空よ

きみが  
真実を教えてくれた

きみと一体となった瞬間  
目覚めたんだ

どうか消さないで  
たったひとつのほんものを